令和６年度学校教育研究計画書

１　研究主題

知的障がい特別支援学校の各学部の課題改善に向けた取組（２年目）
～各教科等を合わせた指導の年間指導計画の検討及び自立活動の指導の充実～

２　研究の構想

【研究の目標（目指す姿）】
○　小学部、高等部：各教科等を合わせた指導（生活単元学習）の年間指導計画の改善
○　中学部、高等部：自立活動の充実と指導力の向上

【研究の視点１】
<u>生活単元学習の年間指導計画の改善</u>
○何をするのか（明らかにする内容）
・小学部、高等部：生活単元学習の年間指導計画の作成と改善
○どのようにするのか（研究の方法）
・小学部：生活単元学習の年間指導計画の実践及び検討や見直し
・高等部：昨年度作成した生活単元学習の年間指導計画の実践及び検討、検討内容発表

【研究の視点２】
<u>自立活動の指導内容検討</u>
○何をするのか（明らかにする内容）
・中学部、高等部：自立活動の充実と指導力の向上
○どのようにするのか（研究の方法）
・中学部：チェックリストやシートの活用による実態把握．自立活動の実践及び実践発表
・高等部：生徒の実態把握、自立活動の実践及び検討、実践発表

【学校の現状】（○：よさ、●：課題）
○「チーム筑特」による組織的な協働体制及び、系統性のある支援・指導ができる。
●コロナ禍後の教育活動に応じた各教科等を合わせた指導の年間指導計画の見直しが必要である。
●多様な実態の児童生徒が複数在籍する学級における自立活動の指導方法の検討が必要である。

【前年度研究の成果と課題】（○：成果、●：課題）
小学部　○各教科等を合わせた指導の年間指導計画の見直しを計画的に行うことができた。
●見直しを行ったことで明確になった６点の課題を改善していく必要がある。
中学部　○対象生徒の課題改善に近づき、指導方法の共有につながった。
●小学部と高等部の間の学部として、この時期だからこそできる支援の検討が必要である。
高等部　○生活単元学習の年間指導計画の見直しと自立活動の内容の情報共有ができた。
●見直した生活単元学習の実践と改善、集団の中での個に応じた自立活動の内容の検討。

３　研究のスケジュール

月	内容	月	内容
４月	・各学部での研究の提案	10月	・各学部での取組
５月	・各学部での取組	11月	↓
６月	↓	12月	↓
７月	・外部講師による研修会①	１月	↓
８月	・外部講師による研修会②	２月	・全体報告
９月	↓	３月	・次年度の研究方向性の確認